

【議 題 3】

その他報告事項

平成28年度健康保険委員アンケート実施結果について



1. 目的

加入者・事業主の皆様の声を把握するとともに、今後の事業運営の参考にすること

2. 対象

平成28年8月において健康保険委員を委嘱している1,894事業所

3. 調査方法

アンケート用紙を健康保険委員広報誌ハピネス8月号に同封して発送し、返信用封筒にて郵送回答

4. 調査期間

- ・アンケート用紙発送：平成28年8月22日(月)
- ・アンケート提出期限：平成28年9月15日(木)

5. 調査内容

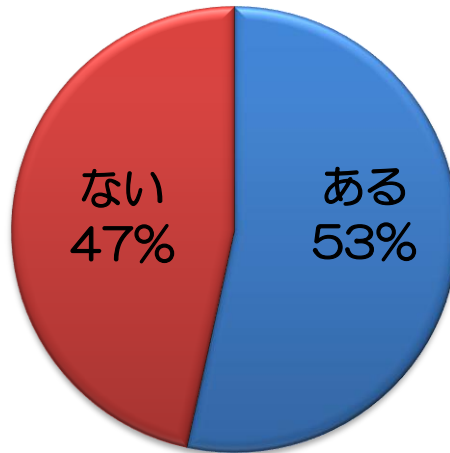
- ・「いわて健康経営宣言」事業について
- ・健康保険委員として

6. 回収状況

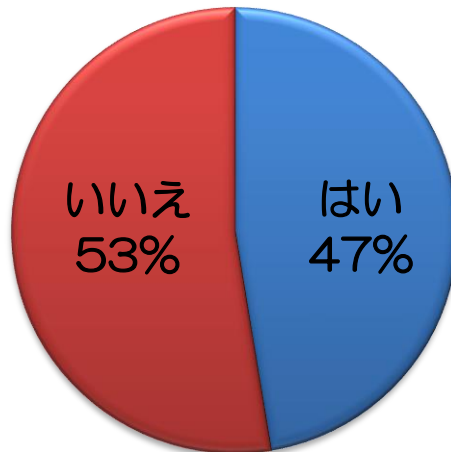
アンケート回答数：646事業所(回収率34.1%) ※平成28年10月13日現在

～「いわて健康経営宣言」事業について～

Q1. 「健康経営」という言葉を聞いたことはありますか？

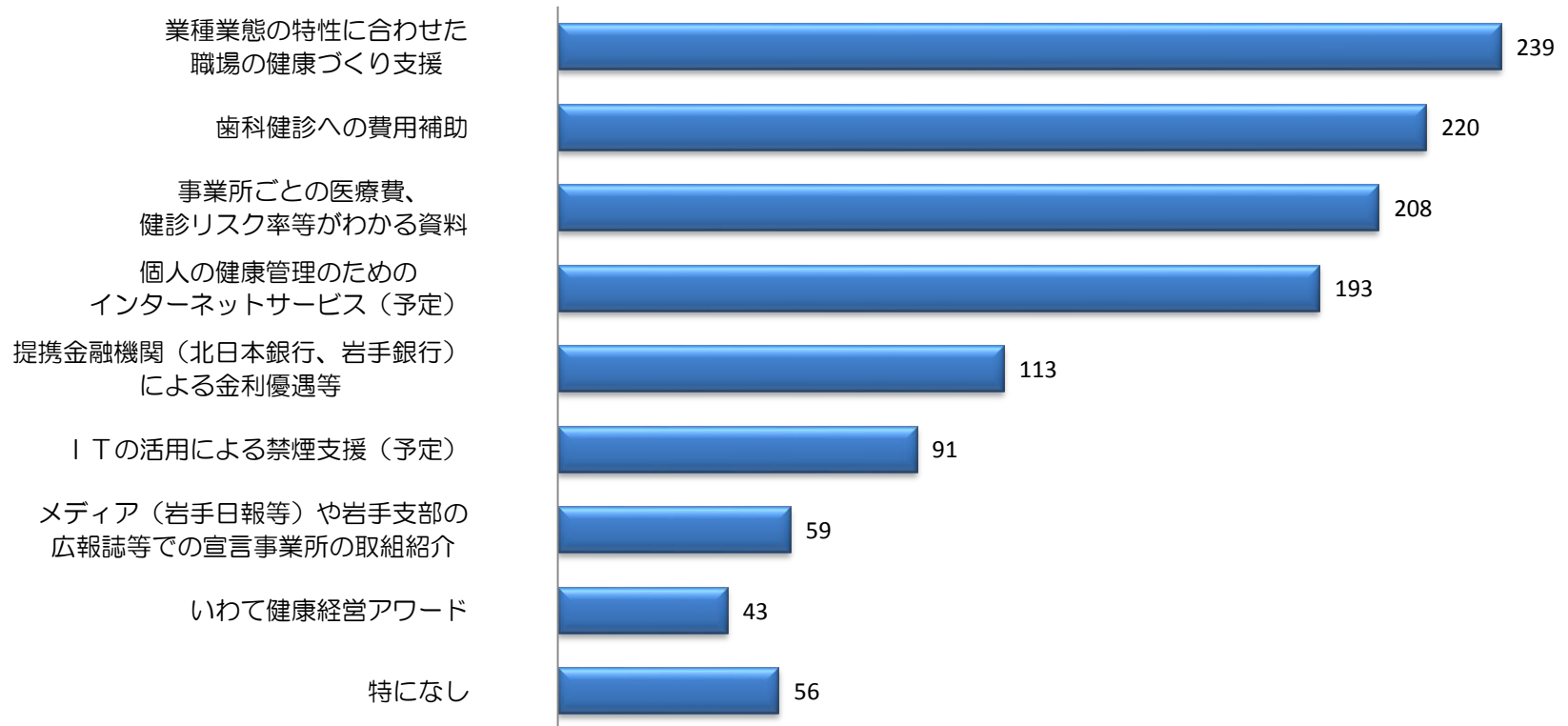


Q2. 「いわて健康経営宣言」事業をご存じですか？



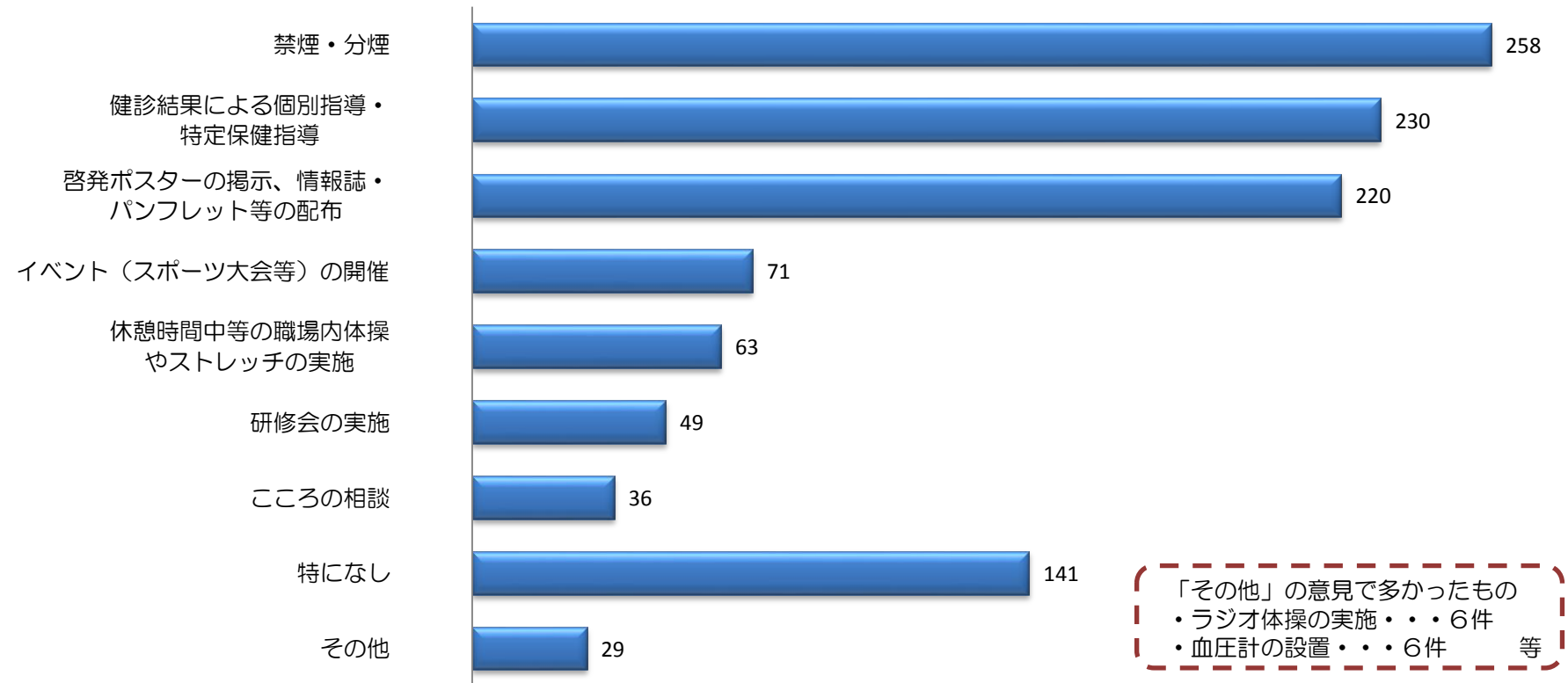
Q1, Q2ともに
約半数の方が
知っている。

Q3. 「いわて健康経営宣言」事業において今年度取組みを計画している下記事業について、興味のあるものを教えてください。(複数回答可)



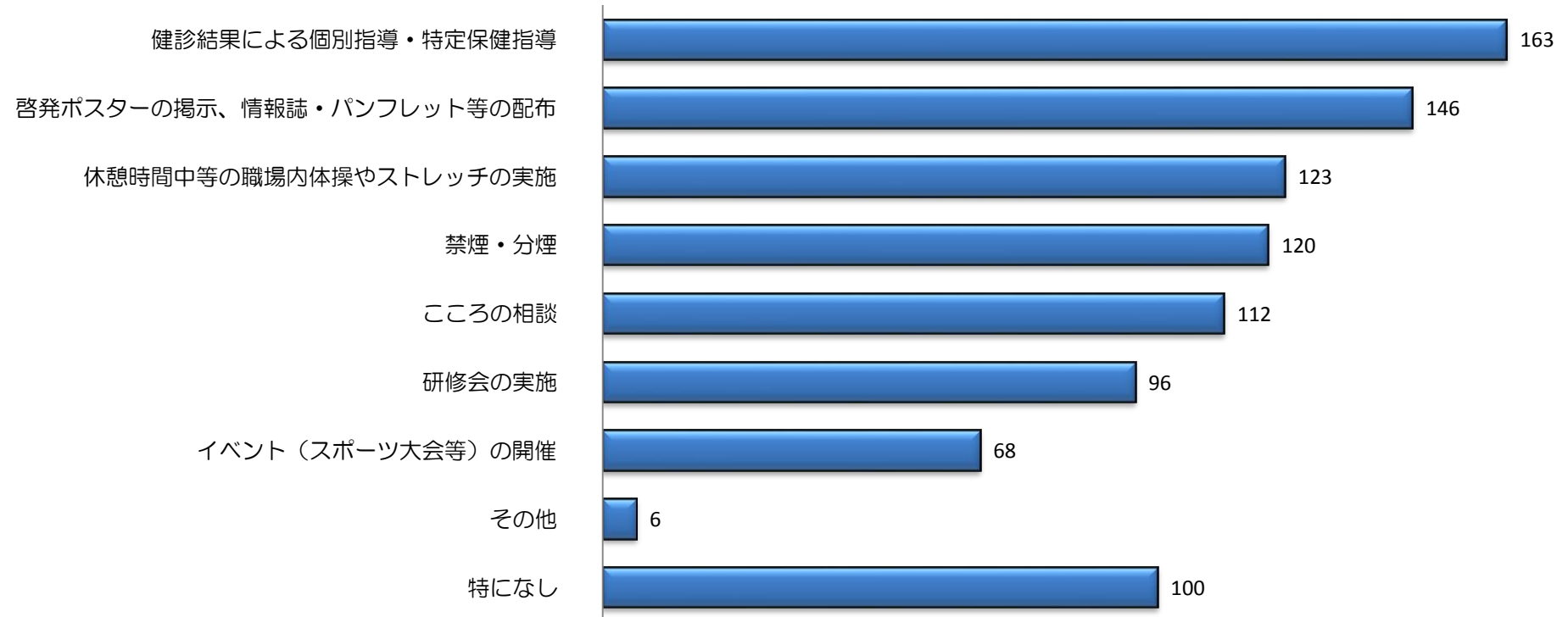
職場の健康づくりに対する支援や、事業所毎の健康度の把握等に対する関心が高いため、今後も継続して健康経営に対する取組みを強化する必要がある。

Q4. 従業員の健康づくりを推進するため、職場で取組んでいる(1年以内に取り組んだ)事を教えてください。(複数回答可)



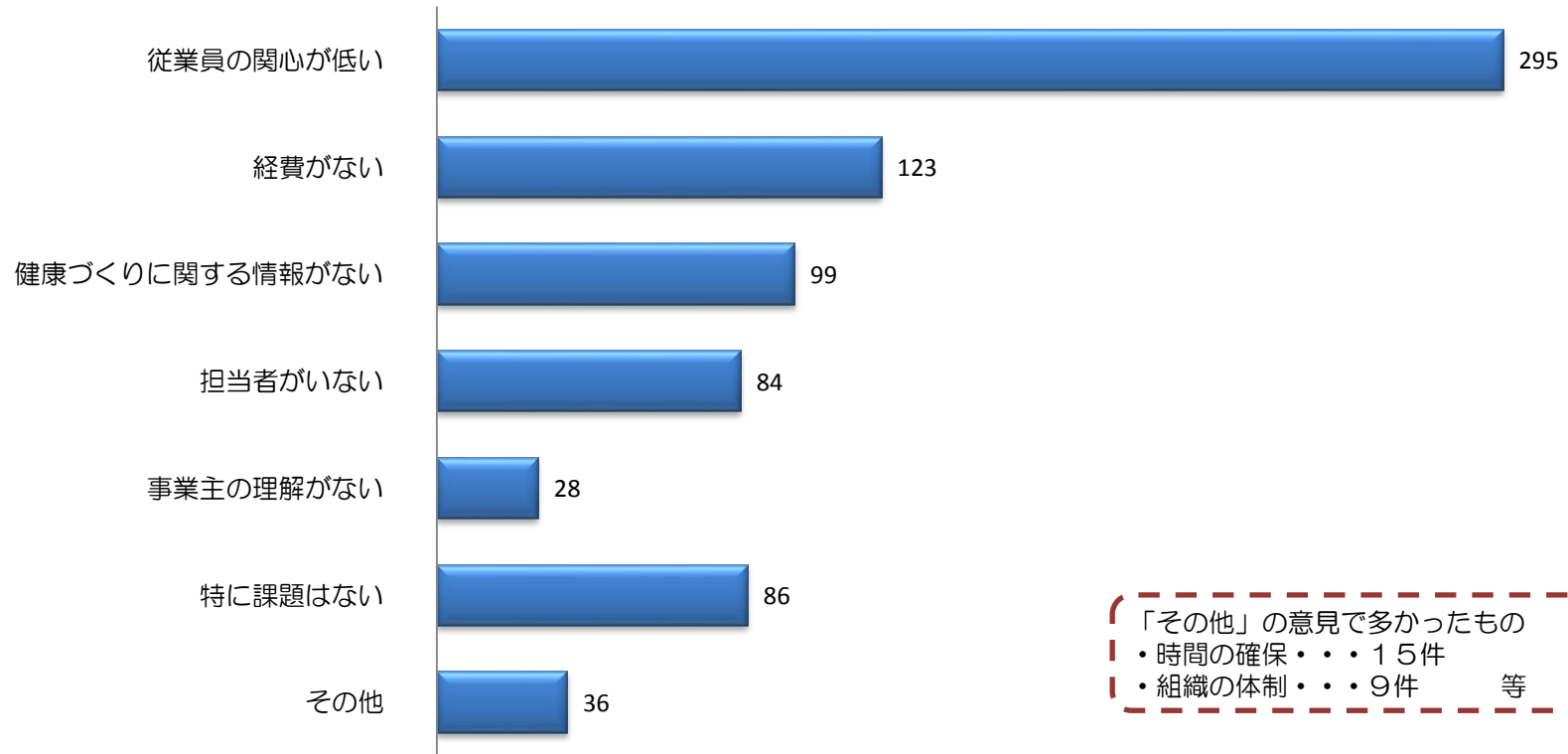
禁煙・分煙、特定保健指導の利用、広報物の活用が多い。
一方で特に取り組み無しの事業所も約2割を占める。

Q5. 従業員の健康づくりを推進するため、今後新たに取り組んでみたい事を教えてください。
(複数回答可)



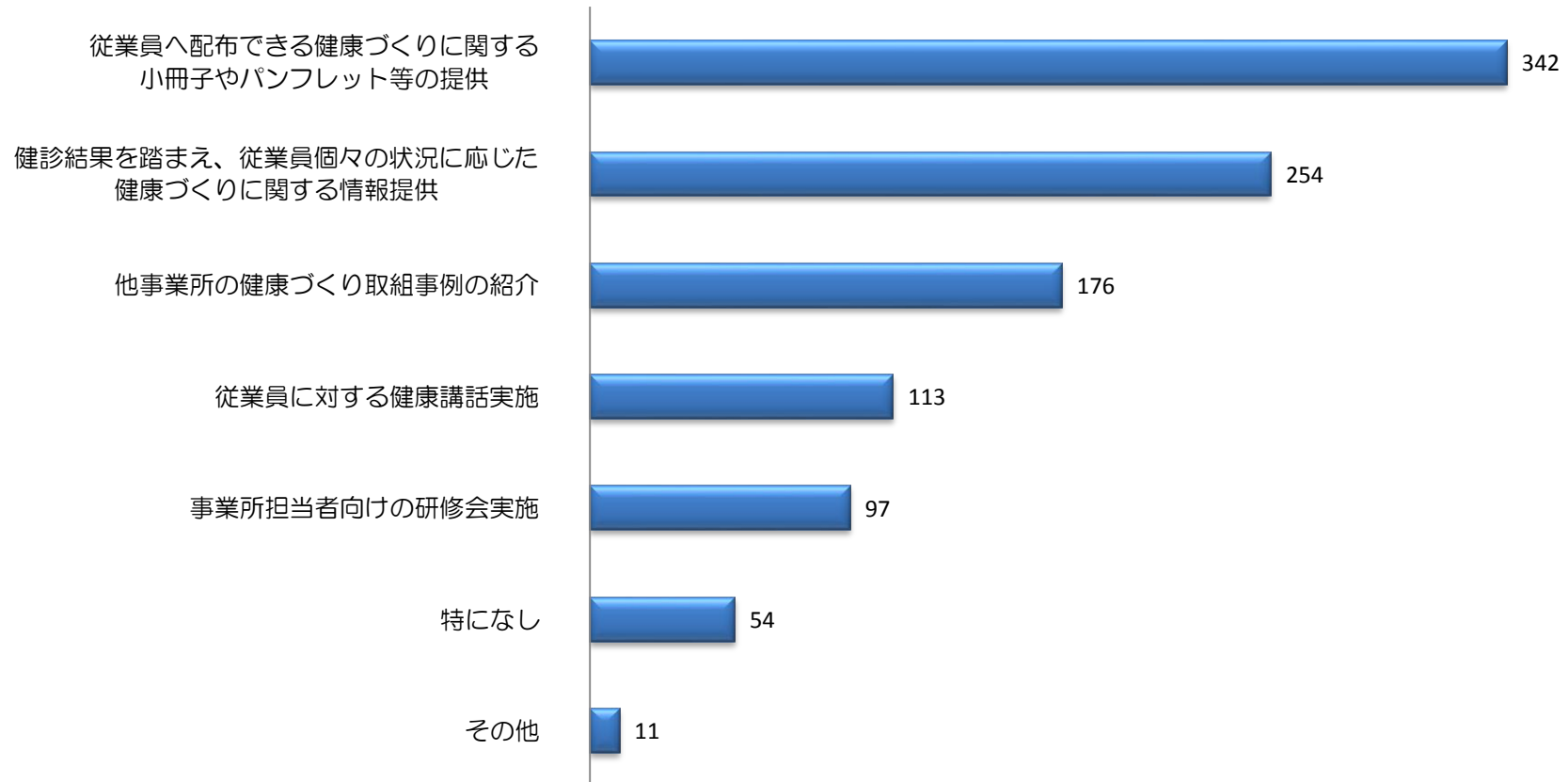
特定保健指導の利用が最も多く、約1/4の事業所が取り組んでみたいと回答。
特定保健指導を受け入れる意識は高いようである。

Q6. 従業員の健康づくりを推進するうえで、貴事業所の一番の課題は？（複数回答あり）



従業員の関心の低さが圧倒的。
従業員の健康づくりに対する意識改革が必要と思われる。

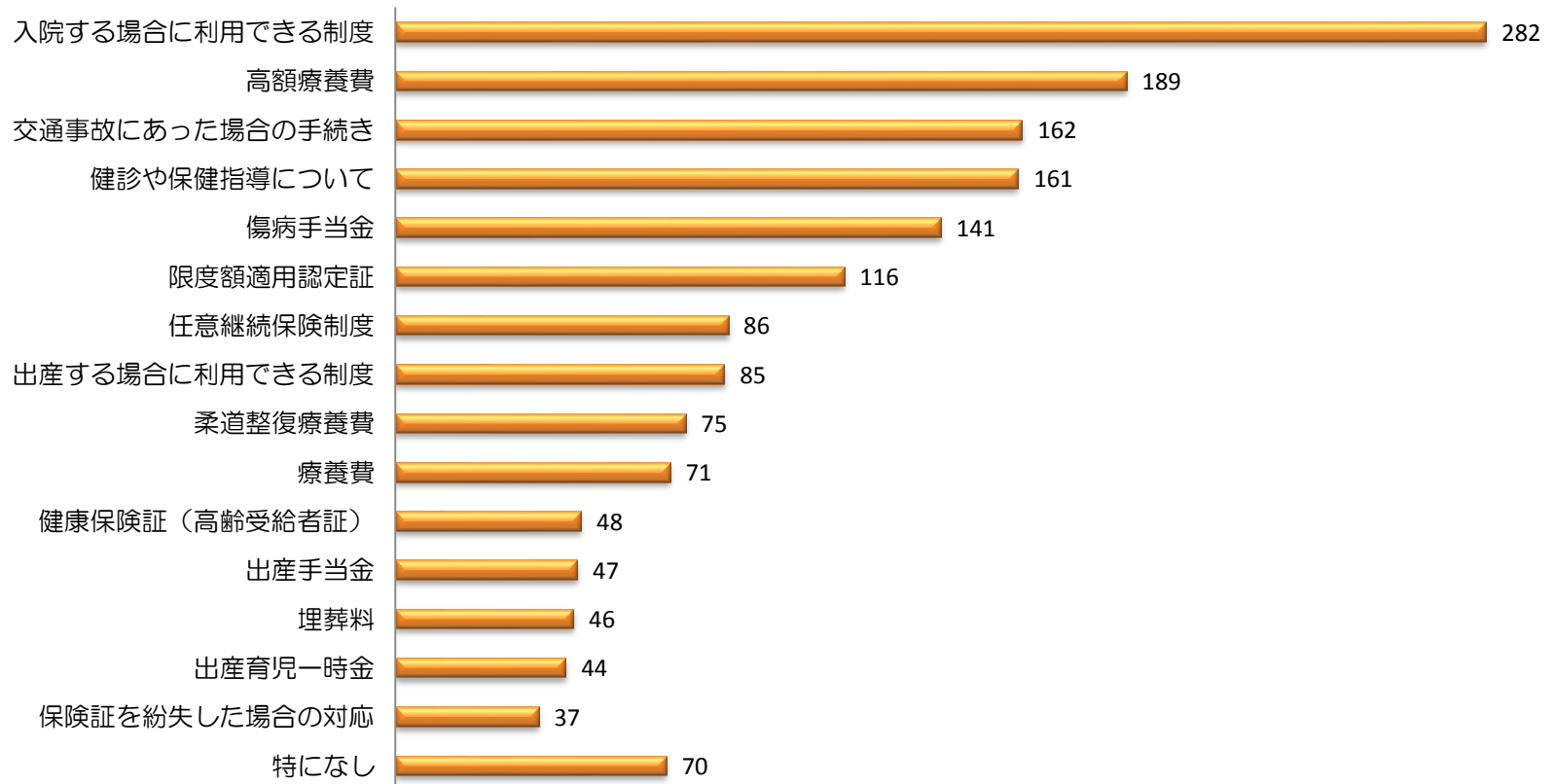
Q7. 健康づくりに関して、岩手支部に期待する事は？（複数回答可）



小冊子・パンフレットの提供等の広報物、及び従業員個々の状況に応じた情報の提供を求める声が多い。

～健康保険委員として～

Q8. 今後の広報で取り上げて欲しいテーマは？



入院時に利用できる制度を始めとして、従業員の病気やケガの際の健康保険給付への関心が高い。

Q9. 健康保険委員としてご苦労されている事や、従業員の方への制度周知等に関して工夫している事は？（一部ご紹介）

- ・朝礼だけでなく、目につくところ(玄関、コピーの前の壁)に健康に関する良いと思うチラシ等を貼っています。
- ・担当者同士での勉強会を行っています。
- ・検診結果を観て、2次検査を進めているが時間、お金が負担だとなかなか受診してくれない。パンフレットやネットで探した資料を毎月、会議で提案している。
- ・(労働)就業時間や休憩時間を割いて活動することに躊躇します。
- ・喫煙者を0にしたい、指摘しているが出来ない事 何か方法が？
- ・制度そのものがわかりづらく、理解するまでに時間がかかる点が苦労している。
- ・現業部門の従業員の健康に対する意識が低い。
- ・健康診断時、個人の健康状態等によりオプションの利用を進めたり、結果により早目に受診してもらっている。
- ・協会けんぽから送られてくる資料は必ず回覧しています。健診の実施、会社で全額負担していますが、内容の希望をとると負担額に格差がでて経理的にこまる。
- ・経営者が タバコを止めようとしなない為、従業員の(管理職)喫煙率が高い
- ・従業員から傷病手当金や高額療養費等の相談がある際は、一日でも早く(生活に関わるので)スムーズに申請が出来るよう周知、対応をしております。
- ・食生活改善、運動習慣など若いうちから取組が必要では。
- ・送付頂いた「広報誌ハピネス」の健康づくり関係の資料をコピーし職員に配布しております。
- ・従業員への制度周知の場が少なく、どのように事業所が工夫しているのか教えてほしいです。
- ・従業員に対して健康作りを、何か取組みしてみたいけど難しいです
- ・企業責任として「受動喫煙」についての書類が届いたが企業としてどこまで取り組んでよいのかわからない。社会保険委員としての悩み相談も必要では。
- ・健康診断結果を基に早期治療し、大事に至らないよう再検査を受ける様に促している事。
- ・毎朝の声掛け、その反応を見て心身の体調の把握、心配な場合は直接本人と話したり上司に相談をする。

Q10. 協会けんぽへのご意見・ご要望(一部ご紹介)

- ・Happinessの健診結果の見方と活かし方の特集、とても参考になりました。健診結果と一緒に今までの特集記事をコピーして全従業員に配布しました。数値だけ見てもいまいちよく分からない健診結果は健康づくりに役立てるのにとっても有効なものだと思います、ありがとうございました。
- ・特定保健指導の保健師がどのような指導をするのか、協会けんぽの担当者の方もきちんと把握してから事業主へ案内した方がいいと思う。
- ・健康保険証を早めに発行してほしい。(到着までの日数が長い)
- ・近所の病院、どこで受診しても負担金の助成をしてほしい(健康診断)
- ・個別指導の他に委員の面談(相談)をしてほしい。
- ・確認のTELをすると対応がやさしくない。気持ちが声に出る。
- ・事業担当者も変わるので、申請や手続きにもれのないよう、広報や文書で常に情報提供いただける事をありがたく思っております。今後も期待しております。
- ・広報誌ハピネス、毎号楽しく読ませて頂いておりますが、最近、年のせいなのか、内容のつめ込み過ぎなのか、読みづらさを感じております(すみません)。
- ・ハピネス等情報誌で色々な健康に関する記事は関心深いです。これからも色々な情報を楽しみにしております、従業員が健康でなければ会社も健康でなくなりますから
- ・社会保険委員同士のコミュニケーションの場が以前はあったが近年ないが情報源がなくなった
- ・若い従業員も一緒に健診を受けられると良い。
- ・健康ウォーキング等の行事PRチラシがあれば、社内への呼びかけがしやすいと思われる。
- ・安全衛生に関するビデオ、DVDはたくさんあるが、健康に関するものは少ない。労働基準協会から現在借りていますが、市内に借りるところがあればいい。
- ・休暇を取ることに對して岩手県民は腰が重いように感じます。真面目で責任感が強い、罪悪感を感じるのだと思いますが、心身の健康には休暇を取って休む、趣味を楽しむ事も必要だと思います。そういった冊子やパンフレットがあると活用したいと思います。
- ・健康づくりに対しての(運動、食事、休暇)情報提供をして下さい。